

授業科目名	英語Ⅱ（中級）			授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	吉重 美紀						補助担当者名			
単位数	2 単位			履修年次	2 年次		受け入れ人数	25名程度		
授業の概要	「科学技術」「健康」「動物」「人間の精神」「宇宙」といった多岐にわたる分野から取り上げられた興味深い話題の英文を読んで読解力の向上をはかるとともに、英語を通し科学やその研究に親しむ。読んだ内容に関し、英語で自分の考えを表現する。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
				授業期間				定期 試験	その他	割合 %
	■認知的領域	英文の内容を理解し、各話題に対し自分の考えを持ち英語で表現できる。	○		○	○		○ 0	30	
	■情意的領域	日頃から現代社会の幅広い話題に関心をもつ。	○		○				30	
■技能的領域	主要な語彙、表現、センテンスが口について出るようになる。英文内容を簡単な英語で要約できる。意見を英語で書ける。	○			○	○		40		
成績評価の基準	スピーチと発表は学生相互評価。レポートは2回（発表後）提出。12月に実施するTOEIC IPテスト結果を加味（10％）。さらに学期末試験を行ない、総合的に評価して60点以上の者を合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Science Finder 科学の不思議』（Jonathan Lynch, 委文光太郎 著、成美堂、2017、1900円+税） 参考書：『使える理系英語の教科書?ライティングからプレゼン、ディスカッションまで』（森村久美子著、東京大学出版会、2012）									
履修条件・ 関連科目	テスト結果でこのクラスに指定された学生。			備考(教員メッセージ含む)		辞書必携。発表前は必ず打ち合わせに来室のこと。				
オフィス・アワー	木曜日：昼休み、午後4時～5時 図書館2階吉重教員室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	吉重 美紀	Introduction to the course、presentationについて				スピーチ指導				
2	〃	Unit 1 Digital Amnesia スマホと物忘れの危険な関係				スピーチ指導				
3	〃	Unit 2 Sleep Paralysis 金縛りは心霊現象ではなかった				スピーチ指導				
4	〃	Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages? 語学力と脳				スピーチ指導				
5	〃	Unit 4 The McCollough Effect 不思議なマッカロー効果				スピーチ指導				
6	〃	Unit 5 The Healthiest Drink? コーヒーを飲んで健康になろう				発表指導				
7	〃	The first presentation by students 第1回発表				U.1～5でレポート提出				
8	〃	Unit 6 Health Advice for Fashion Lovers おしゃれは危険				スピーチ指導				
9	〃	Unit 7 Live to Be 120 糖尿病治療が寿命を延ばす				スピーチ指導				
10	〃	Unit 8 A New Antibiotic Found in the Soil 新しい抗生物質が世界を救う				スピーチ指導				
11	〃	Unit 9 The World's Oldest Creature? 世界最高齢の生き物は貝だった				スピーチ指導				
12	〃	Unit 12 Animals and Earthquakes 動物だけが知る地震の前兆				スピーチ指導				
13	〃	The second presentation by students 第2回発表				U.6～12でレポート提出				
14	〃	Unit 13 LiquiGlide 特殊コーティング技術でケチャップが水のように				スピーチ指導				
15	〃	Unit 16 Li-Fi Wi-Fiのイライラにさようなら？				スピーチ指導、学期末試験の説明				
16	〃	学期末試験(筆記＋リスニング)								